

## たも屋の黒川社長が講演 人間関係の重要性について熱弁

ビジネスマナー研修などを行っているか株エス（代表取締役 内海加奈子氏）が1月20日、サンメッセかがわ（高松市林町）で講演会を主催した。

講師には有たも屋代表取締役の黒川保氏が招かれ、「人間関係を良くする考え方」必然性を生かす」をテーマに90分間講演を行った。

黒川氏は1962年3月生まれの56歳。有名うどん店、たも屋代表取締役の講演ということもあり、会場



には主婦から経営者まで、約120人が集まった。

講演では、黒川氏がこれまで歩んできた人生の中で学んだ「人間関係を良くする考え方」について語られた。

現在、同店は直営店を含め国内に12店舗、海外に9店舗を構えるほどに成長。そんな順風満帆に見える黒川氏にも、人生を左右する転機が三度訪れたという。

一度目は、高校卒業後に入社したナショナル（現パナソニック）販売会社に勤務する中で起こった大怪我。二度目は、パブのオープン。三度目は、たも屋林店のオープンである。

様々な転機を経て、たどり着いた答えは「人との出会いも、目の前も出来事も全て必然性」であると述べつつ、人との出会いも全て縁。嫌な出来事も意味のあることだと語る。

嫌な出来事は、なぜこのような事が自分の身に起きているのかを考え、逃げずに処理することで自分の成長に繋がったと話した。

また、「人間関係を良くするには、愛情と感謝を持つことが大切である。

人のことを自分のことのように感じられるか、相手の気持ちを常にくみ取ろうとする気持ち。愛情、過

去にも現在にもい  
つも「感謝」する  
ことを常に心に留  
めておくことで人  
間関係は必ず良く  
なる」と力説。

最後には「して  
もらったことは岩  
に刻め、してあげ  
たことは水に流し  
て、あげたことなんてすぐに忘れて  
しまえ。してもらったことは、ずっ  
と忘れず、感謝の気持ちを持ち続け  
ることが大事」

だと参加者にメッセージを送った。

参加者からは「黒川社長の生の声  
で、自分に足りないところを教えて  
頂いた。大変勉強になった」などの  
感想が寄せられるなど、黒川氏の想  
いが多い参加者の心を熱く震わせ  
たことに違いない。